



アイアンメッシュ 3FD BBQテーブル13070-BC No.73581002

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用
いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明
書は、大切に保管してください。

組立て・取扱説明書

使用上の注意

- 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。

火災のおそれあり

- 火気を使用するときは、必ず換気のできる屋外で使用する。
- 強風時は、たき火をしない。
- たき火台の使用時は、ランタンポールにランタンなど引火しやすい物を吊さない。
※燃焼器具の使用時も、熱などがランタンに影響を与えそうな場合には、吊さないでください。



やけど、けがのおそれあり

- 起伏や傾斜がない地面に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 鋭利な部分があるため、洗浄時はゴム手袋などを着用する。

転倒、破損、やけど、けがのおそれあり

- 燃焼器具・たき火台の使用時や、加熱した調理器具をテーブル天板に置いてい
るときは、テーブルを素手で触らない。
- たき火台の使用時は、天板の下に足を入れない。
(灰や火の粉がかかったり、たき火台に触れるおそれ)
- 物を置いたり吊したり、燃焼器具やたき火台に着火した状態で移動させない。
- テーブルに乗ったり座ったりしない。
- テーブルに、30kg以上の物や極端に大きい物、危険な物を置かない。
※30kgは、静止状態での耐荷重を示すものです。
- 片寄った荷重をかけない。特にテーブルの四隅に手をつくなどして荷重をかけ
ない。
(テーブルがひっくり返るおそれ)
- 使用中は、ランタンポールの傾きや安定度、固定度を定期的に確認する。
- 1つのランタンフックに2個以上のランタンを吊さない。
- ランタンポールに、極端に重い物をひっかけない。



けがのおそれあり

- ランタンポールやランタンフックの先端で目を突いたりしないよう十分注意する。
- テーブルの脚に足をひっかけないよう十分注意する。

破損のおそれあり

- センターテーブルの下で火気を使用しない。
- 雨天時は使用しない。
- 液体などをこぼしてしまったときは直ちに拭き取る。
- 屋外に長期間放置しない。
(劣化のおそれ)
- 十分に乾燥させてから、湿度の低い冷暗所で保管する。

■誤った取り扱いや使用状況、保守管理および点検の不備などによる破損、損害、事故、経年変化などによる損傷・劣化・サビや腐食の発生につきましては、
責任を負いかねますのでご了承ください。

- 製品の特性上、あるいは使用場所、環境により製品強度が著しく劣化する場合があります。製品を1年以上放置した場合は、必ず使用する前に傷や劣化のないことをご確認ください。
また、購入後2年以上経過した製品の安全は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 主に野外での一時的な使用および組み立て・撤収を前提に開発された製品です。使用環境により著しく経年劣化することがありますので、次の点にご留意ください。
 - ・組み立てた状態での長期連続使用は想定していません。(想定連続使用期間：2～3日間)
 - ・組み立て・撤収時に製品の状態を確認し、破損などの不具合が見られた場合は直ちに使用を中止してください。
 - ・収納時に上に載せた物の荷重や、落下などで破損する場合があります。

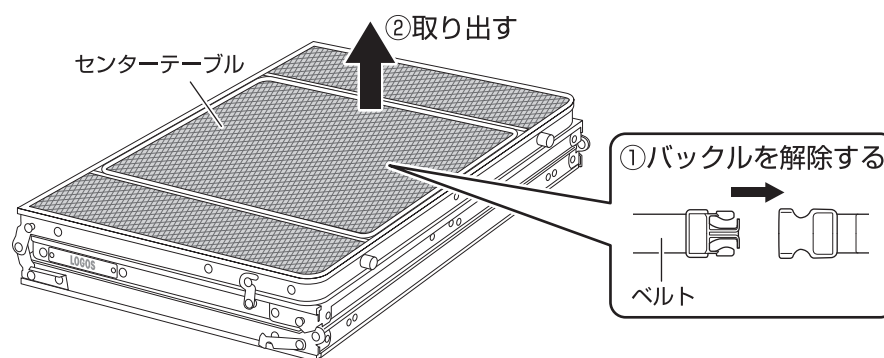
組み立て方法

組み立て方法と注意をよく読み、番号順に正しく組み立ててください。
撤収は必ず逆順で行ってください。
パーツの形状やパーツの収納位置など、実際とは若干異なる場合があります。
使用する前にはしっかりと組み立てられているか必ず確認してください。

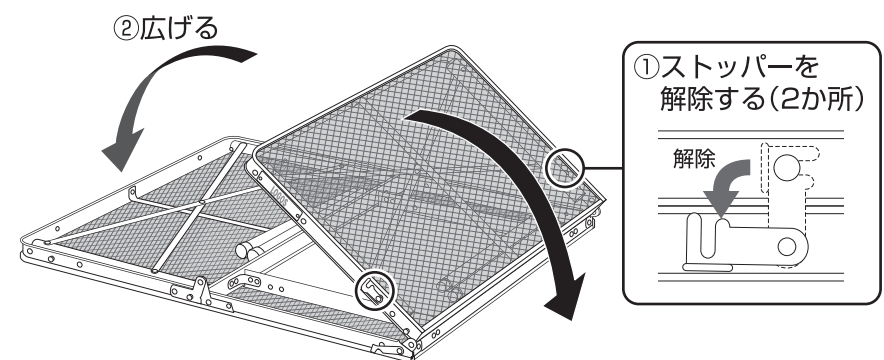


- 組み立て・撤収時、可動部で指などを挟まないよう、注意する。

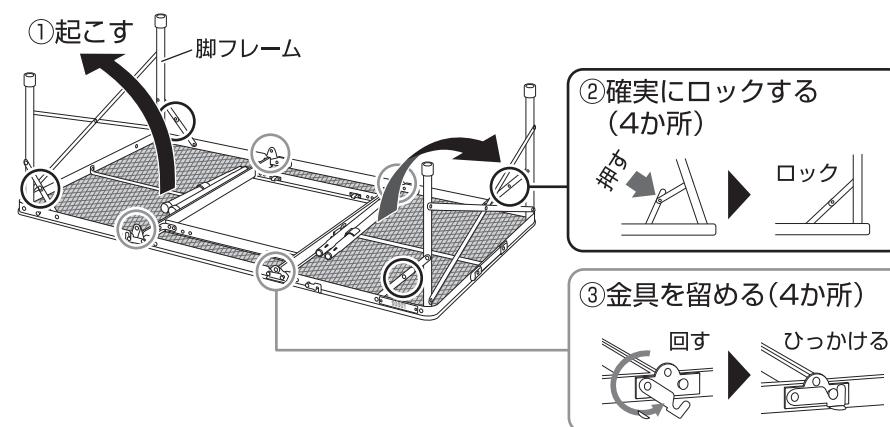
1 ベルトを外し、センターテーブルを取り出す



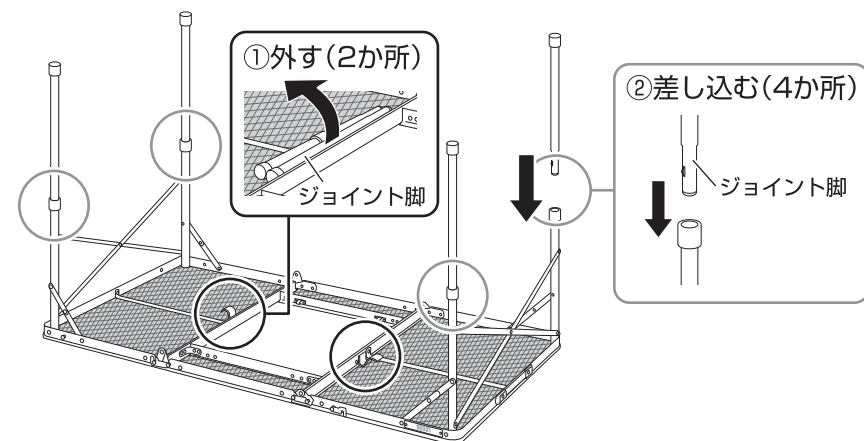
2 テーブルを裏返して天板を緩やかに広げる



3 脚フレームを起こし、ロックする



4 ジョイント脚を取り付ける



※ローポジションで使用する場合は、ジョイント脚を取り付けずに使用してください。

5 天板の両端を持ち、テーブルをゆっくりと裏返して起こす (必ず2人以上で行う)

- 確実にロックされていることを確認してから行う。



- テーブルを裏返すときは、必ず2人以上でしっかりと天板の両端を支えて行う。
(天板が急に閉じてけがのおそれ)

続きは裏面を見てください。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

Designed by LOGOS CORPORATION 〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間：平日10時～17時迄)
発売元：株式会社 ロゴス コーポレーション ■ホームページ／www.logos.ne.jp ■全国キャンプ場の空き情報／www.campjo.com

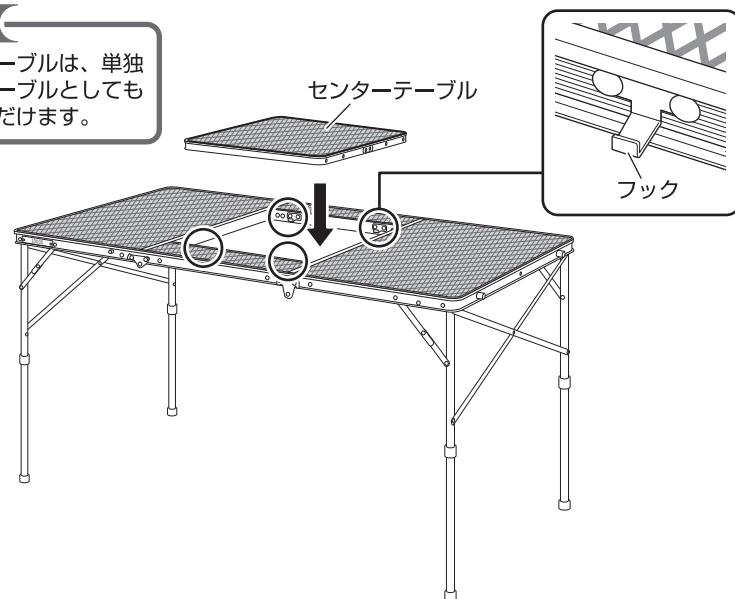
2022/09 HT

6 センターテーブルを取り付ける

- フックの上に乗せる。

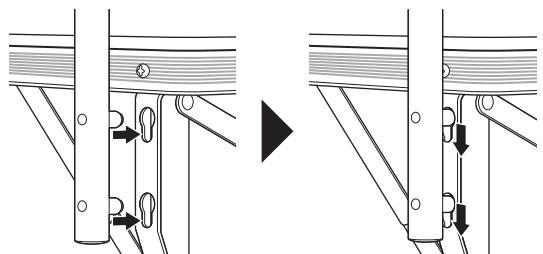
Point

- センターテーブルは、単独でサイドテーブルとしてもご使用いただけます。



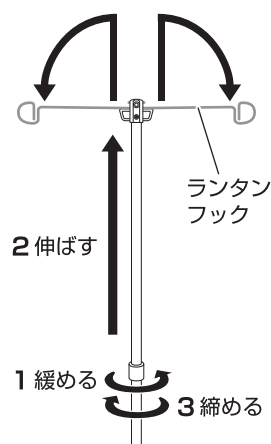
7 ランタンポールを取り付ける

①差し込み、引き下げる



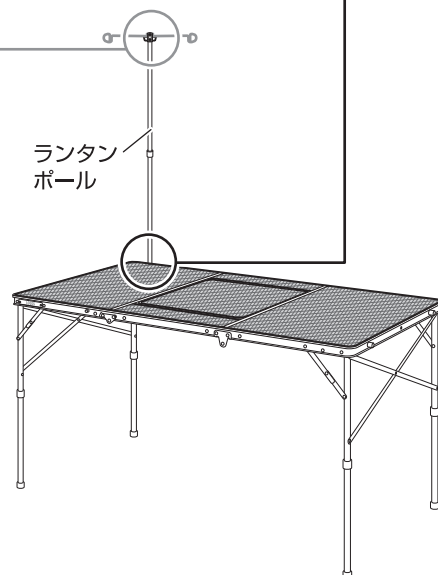
②伸ばして倒す

4 伸ばして倒す



ランタンポール

ランタンフック



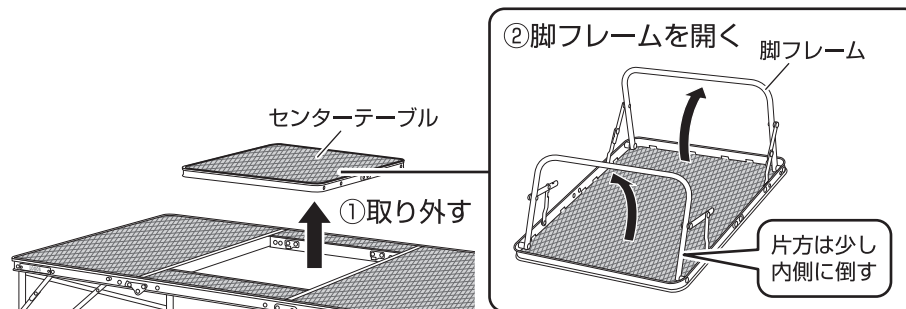
- 組み立て後、平らな場所でぐらつきなどがないか、安定度を確認してください。
- テーブルは開ききった状態でも完全にはなりません。ご了承ください。
- 物を載せたまま、テーブルを持ち運ばないでください。
- ご使用後の汚れは、よく絞ったふきんなどで拭き取ってください。
- ご使用後は日陰で十分乾燥し、湿気の少ない所で保管してください。

ピラミッドTAKIBIと組み合わせる場合

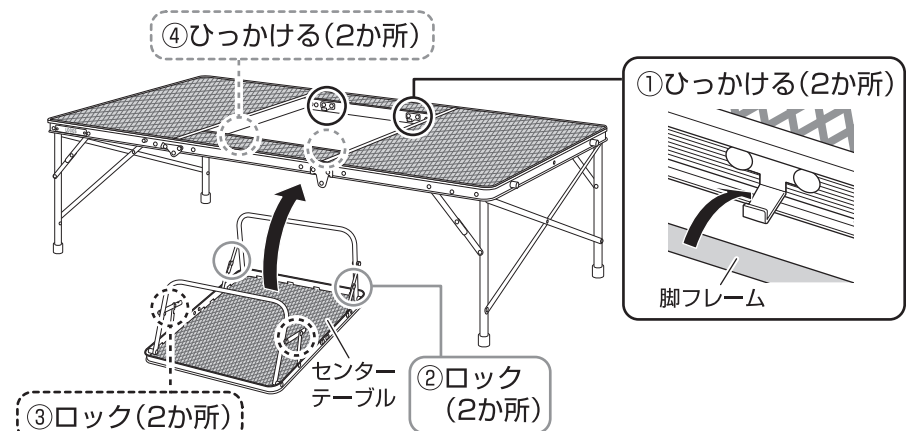
- 別売のLOGOS the ピラミッドTAKIBI LまたはLOGOS the ピラミッドTAKIBI Mと組み合わせてご使用いただけます。

1 センターテーブルを取り外し、脚フレームを開く

- 片方の脚フレームは、少し内側に倒しておく。(両方を完全に開くと取り付けにくい)



2 センターテーブルを天板の下に取り付ける



使用イメージ

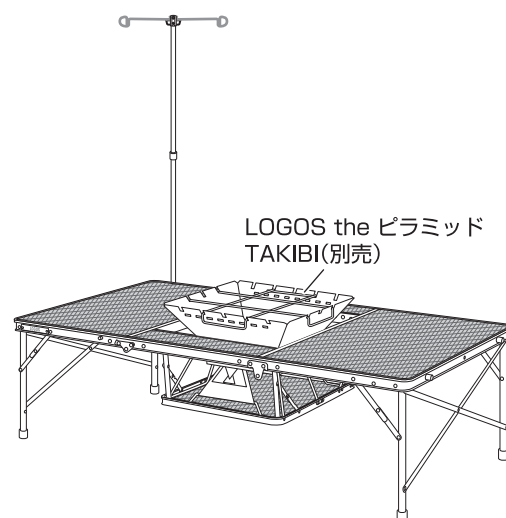
- たき火台の設置・撤収は、着火していない状態で、本体が冷めてから行う。
- 灰などがこぼれ落ちることがあるため、焦げてもよい地面に設置する。
- ※別売品のたき火シートや断熱シートを敷くと、設置面への影響を軽減できます。
- ※設置面への焦げやダメージに対する保証は一切致しかねますので、ご了承ください。
- 薪は、たき火台の火床からはみ出さないように置く。
- 炭や薪の使用時は、燃えやすい物をテーブルに置かない。
- ハイポジションでの使用時は、椅子などに座ってたき火をしない。



注意

Point

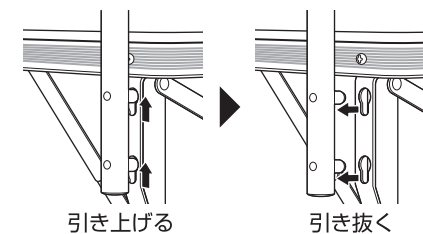
- たき火台が入りにくい場合は、たき火台を組み立てながら設置してください。



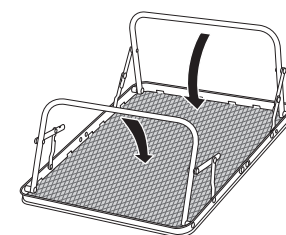
収納のPoint

- 組み立てと逆の手順で行ってください。

①ランタンポールをたたんで取り外す



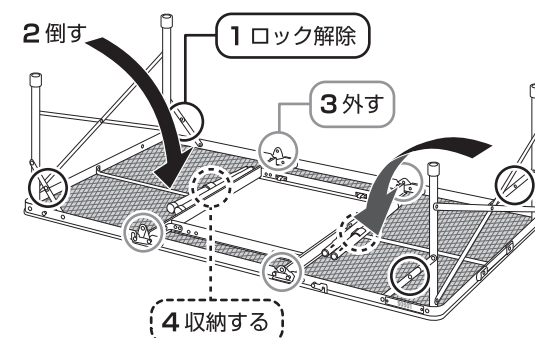
②センターテーブルを取り外し、脚フレームを倒す



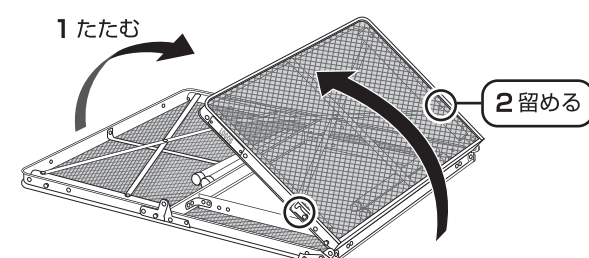
③テーブルを裏返し、ジョイント脚を取り外す



④脚フレームを倒し、ジョイント脚を収納する



⑤天板をたたむ



⑥センターテーブルを収納し、ベルトを巻く

